

# 日本経済新聞

2018年2月17日 (土)

検索欄: 株価 記事

トップ 経済・政治 ビジネス マーケット テクノロジー 国際・アジア スポーツ 社会 地域 オピニオン 文化 マネー ライフ

朝刊・夕刊 日経会社情報 人事ウォッチ Myニュース

マーケット > コラム > NQNスペシャル > 記事

## NQNスペシャル

### 識者に聞く 石弘光氏「政治家の責任で財政再建急げ」

2018/2/17 5:30 [有料会員限定]

(2/3ページ)

保存 共有 印刷 CO ME 他

#### ■若い世代は消費増税に理解

若い人たちの多くは消費増税の必要性は分かっていると思う。政府税制調査会長の時に全国で開いた「税についての対話集会」では「欧州の多くの国の付加価値税の税率は20%以上なのに、日本が5%などというのはあり得ない」という意見もあった。皆で高齢者を支えようという機運があった。

それでも「増税なんて必要ない。成長すれば解決する」という人が出てくると、聞いている人はそんな気になってしまう。財政再建への理解を求めるのは、政治家の責任だ。英国のサッチャー元首相だって、ドイツのメルケル首相だって、国民と対話して財政再建をした。

日本は人口が高齢化する。成長は抑えられる。「ジャパン・アズ・ナンバーワン」なんて昔の話だ。国民に甘い話を連発する政策立案なんて、本来できるはずがない。甘いことばかり言っている政治家なんて信用できないというムードが、日本にも出てこないと困る。

#### ■使命感を持って取り組んだ政権も

1979年に大平正芳内閣が消費税導入を表明し、直後の衆院選で断念して以来、消費税で政治生命を失った首相は多い。それでも大平氏、中曽根康弘氏、竹下登氏、橋本龍太郎氏、細川護熙氏などは首相としての使命感を持って、財政再建に取り組んだと思う。89年に消費税を導入した竹下氏は政権は短命だったが立派だった。辻立ちで全国を行脚してまで理解を求めた。国会答弁でも大変だったが、導入までがんばった。

失脚を恐れたのが、消費増税を封印した小泉純一郎氏であり、安倍晋三氏だとみている。どちらも1強と言われる長期政権なのだから、痛みを伴う改革を国民に訴え、理解を求めるべきだった。小泉政権だって消費増税に取り組んでいたら、5年も持たなかったかもしれない。消費増税の先送りや延期は政権延命のための道具になったと思う。

#### ■日銀の黒田氏は気の毒

日銀の黒田東彦総裁が続投する見通しになったが、本人はもうやめたがっていると思う。代わり的人がいなから、貧乏くじを引く覚悟をしたのだろう。長年の友人だからというわけではないが、金融緩和の副作用を黒田総裁の責任にするのは気の毒だ。超金融緩和をしているから財政赤字の垂れ流しができる。黒田総裁は財政健全化をしてくれと安倍首相にいつも言っている。

財政健全化そっちのけで、デフレから脱却して経済成長さえすればいいと言っても、ジャブジャブの金融緩和を止める時期はいずれくる。金利が上がって株式相場が下がった米国が、いい例だ。

#### 🕒 閲覧履歴

📁 銘柄フォルダ

検索した業界・企業のリストがここに表示されます。現在表示する項目はありません。

🔍 日経業種分類から銘柄を探す >

🔍 NEEDS業種分類から銘柄を探す >

📰 日経会社情報 時計開示 株主優待



マーケット 記事ランキング		2/17 1:00更新
今日	昨日	一昨日
1位: 株255円高、円高に勝った「守り」の買い		
2位: リフレ派若田部氏起用でも止まらぬ円高		
3位: プリチストン、4年ぶり最高益を支える3つの要因		
4位: 遅れてきた個人始動 為替に動じず株下支え		
5位: 「金融緩和、出口は遠く」 日銀人事こう見る		

📄 会員向け新着情報【日経コンシェルジュ】 >

会社情報セミナー開催！テーマは【資産形成】

#### 最新の市場情報 ※営業日はリアル更新

日経平均株価(円)	21,720.25	+255.27
日経平均先物(円) 大取,18/03月	21,900	+160
TOPIX	1,737.37	+18.10

業績ニュース 株価材料 記者の目

- 日本株ADR 16日、全面高 京セラが2%強上昇 (2/17 6:18)
- 日経平均先物、夜間取引で上昇 160円高の2万1900円で終了 (2/17 5:43)
- 株価材料先取り (16日) プリチストンの前期、7%営業減益 (2/16 15:59)
- 株価指数先物・オプション大引け 先物続伸、コール上昇 (2/16 15:48)

📱 アカウント一覧